

岡山県感染症週報 2015年 第5週 (1月26日～2月1日)

岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

◆2015年 第5週 (1/26～2/1) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第3週 2類感染症 結核 2名 (30代 女 1名、90代 女 1名)
 5類感染症 アメーバ赤痢 2名 (60代 男 1名、70代 男 1名)
 第4週 2類感染症 結核 1名 (20代 女)
 5類感染症 急性脳炎 1名 (20代 女)
 第5週 2類感染症 結核 1名 (20代 女)

■定点把握感染症発生状況

- インフルエンザは、県全体で2998名 (定点あたり58.98 → 35.69人) の報告があり、前週より減少しました。
 ○感染性胃腸炎は、県全体で436名 (定点あたり8.56 → 8.07人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。
 ○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で76名 (定点あたり1.74→1.41人) の報告があり、前週よりわずかに減少しました。

【第6週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が69施設でありました。(2月2日～4日)
 ○早島町の幼稚園1園で、集団かぜによる学級閉鎖がありました。(2月5日)

1. **結核**の集団感染事例が発生しました(1月29日岡山県発表)。2014年9月、備前保健所管内の女性(80歳代)が肺結核と診断され、保健所へ結核患者の届出がされました。その後、女性との接触度合いが高い61名について健康診断を実施したところ、現在までに患者3名、感染者[※]4名の計7名(家族、病院同室者、短期入所施設利用者・職員)を確認しています。今後、女性との接触者の対象範囲を拡大し、健康診断を実施します。また、医療機関や社会福祉施設に対し、文書での注意喚起などを行うこととしています。結核の初期症状は、風邪によく似ています。「咳や痰、微熱が2週間以上つづく」「体がだるい」「急に体重が減る」などの症状がみられる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。(※感染者：結核菌に感染しているが発病していない者)
2. **インフルエンザ**は、県全体で2998名(定点あたり58.98 → 35.69人)の報告があり、前週より減少しました。報告数は減少したものの、過去10年間の同時期と比較して最も多い状態です。岡山県は、1月15日『インフルエンザ警報』を発令し、広く注意を呼びかけています。地域別では、倉敷市(50.44人)、備中地域(38.67人)、備北地域・真庭地域(35.67人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。ほとんどの地域で患者の減少がみられましたが、依然として多くの患者が報告されており、県内全域で大きな流行が継続しています。インフルエンザによる入院患者は16名の報告がありました。インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が160施設であり、第6週も臨時休業が多発しています。県内の発生状況など詳しくは、「**インフルエンザ週報**」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2014/2015年シーズン インフルエンザ情報](#)』をご覧ください。
3. **感染性胃腸炎**は、県全体で436名(定点あたり8.56 → 8.07人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。12月をピークに報告数が減少していましたが、第1週(12/29～1/4)からは横ばいで推移しており、依然として多くの患者が報告されています。地域別では、美作地域(13.00人)、備前地域(9.90人)、真庭地域(9.50人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。ひきつづき手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。県内の発生状況など、詳しくは「**感染性胃腸炎週報**」および岡山県感染症情報センターホームページ『[2014/2015年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。
4. **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**は、県全体で76名(定点あたり1.74 → 1.41人)の報告があり、前週よりわずかに減少しましたが、過去10年間の同時期と比較して、最も多くなっています。地域別では、岡山市(2.43人)倉敷市(1.91人)、備北地域(1.75人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、突如の発熱と体のだるさ・のどの痛みで発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、口腔内に小点状出血あるいは莓舌(イチゴのように赤くブツブツしている舌)がみられることがあります。就学前から学童期の小児に多く報告されており、学校などで集団感染することもありますので、患者との濃厚接触を避け、手洗い・うがいを行うなど、感染予防に努めましょう。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★★★★	RSウイルス感染症		★★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★★★★
感染性胃腸炎		★★★★	水痘		★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★	百日咳		★
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎		★	無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移：
: 2倍以上の減少 : 1.1~2倍未満の減少 : 1.1未満の増減
: 1.1~2倍未満の増加 : 2倍以上の増加

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
 空白：発生なし ★：僅か ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

【医療機関の方へのお知らせ】

医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準の一部が改正されました。

改正内容は、以下の4点です。

- *重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）を、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）と疾患名を変更。
- ***中東呼吸器症候群**（病原体がベータコロナウイルス属 MARS コロナウイルスであるものに限る）が、指定感染症から**二類感染症（全数把握）**に変更。
- ***鳥インフルエンザ（H7N9）**が、指定感染症から**二類感染症（全数把握）**に変更。
- ***デング熱**の届出基準について、検査方法の変更。

この改正については、平成27年1月21日から施行されます。

[感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）](#)

インフルエンザ週報 2015年 第5週 (1月26日～2月1日)

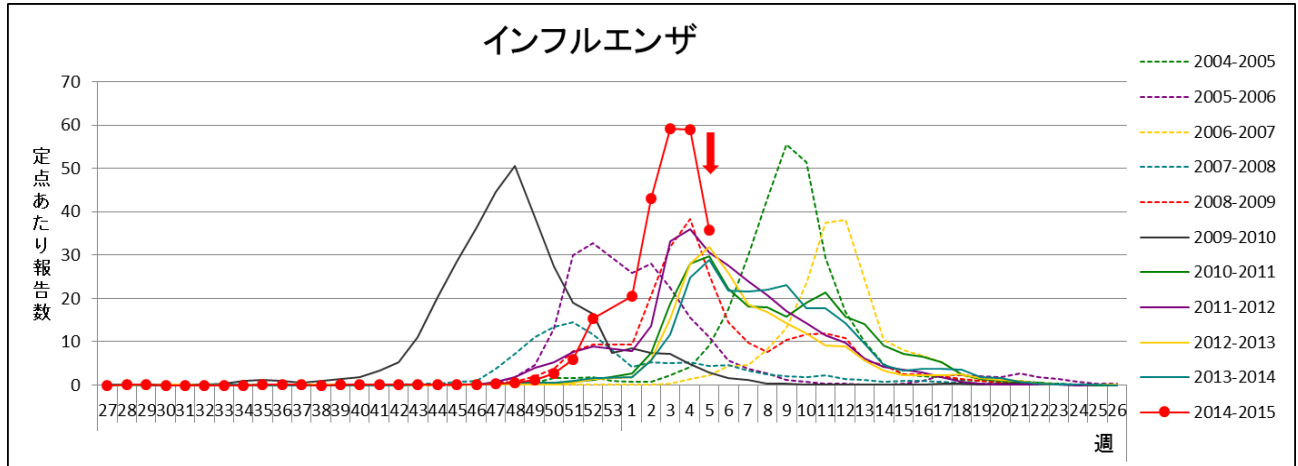
岡山県は『インフルエンザ警報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で2998名(定点あたり58.98 → 35.69人)の報告があり、前週より減少しました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が160施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者16名の報告がありました。

【第6週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が69施設でありました(2月2日～4日)。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で2998名(定点あたり58.98 → 35.69人)の報告があり、前週より減少しました(84定点医療機関報告)。岡山県は、『インフルエンザ警報』発令中であり、広く注意を呼びかけています。第47週以降、患者増加が続いていましたが、11週ぶりの減少となりました。報告数は減少したものの、いまだ警報レベルを超えており過去10年間の同時期と比較してもっとも多い状態です。

地域別では、倉敷市(50.44人)、備中地域(38.67人)、備北地域・真庭地域(35.67人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。ほとんどの地域で患者の減少がみられましたが、依然として多くの患者が報告されており、県内全域で大きな流行が継続しています。

学校等の臨時休業は第5週には160施設から報告がありました。前週(271施設)より減少したものの、多数の施設から臨時休業が報告されており、今後も幼稚園・小学校・中学校などで集団生活をしている年齢層での感染拡大が懸念されます。『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』『十分な睡眠を取る』など、さらなる感染予防に努めてください。また症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

**◆インフルエンザは流行期に入っています。
さらなる感染予防に努めましょう。**

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな?という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	2998	↓	備 中	患者数	464	↓
	定点あたり	35.69			定点あたり	38.67	
岡山市	患者数	770	↓	備 北	患者数	214	→
	定点あたり	35.00			定点あたり	35.67	
倉敷市	患者数	807	↓	真 庭	患者数	107	↓
	定点あたり	50.44			定点あたり	35.67	
備 前	患者数	384	↓	美 作	患者数	252	↓
	定点あたり	25.60			定点あたり	25.20	

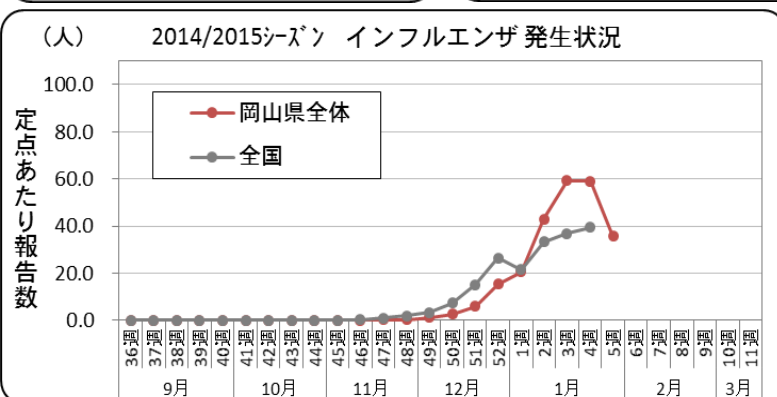
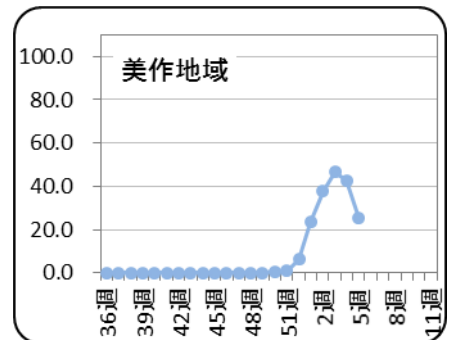
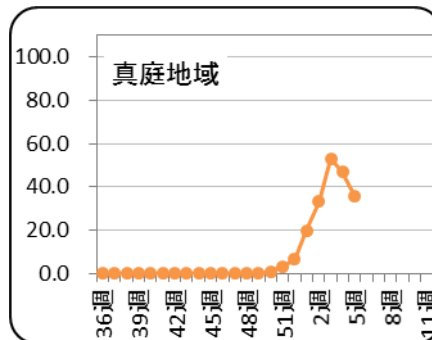
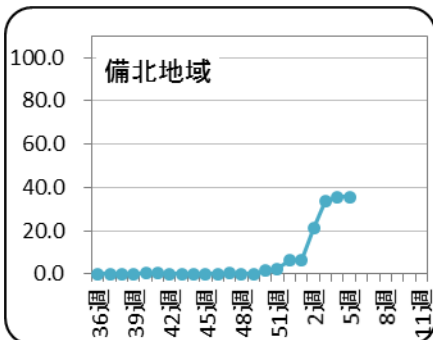
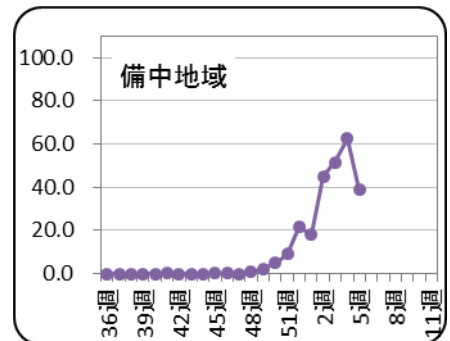
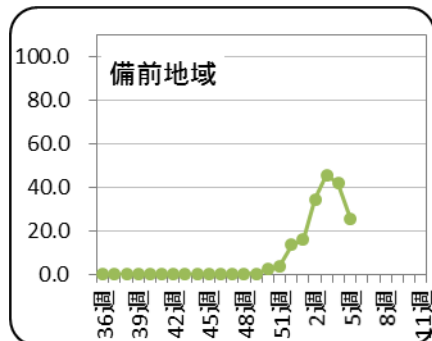
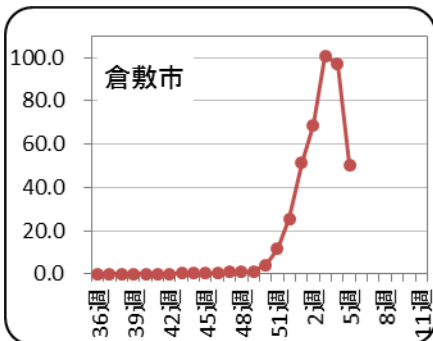
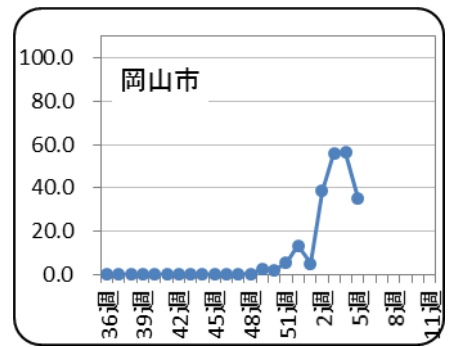
【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↓ 1.1未満の増減 →
 1.1～2倍未満の増加 ↑ 2倍以上の増加 ↑

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

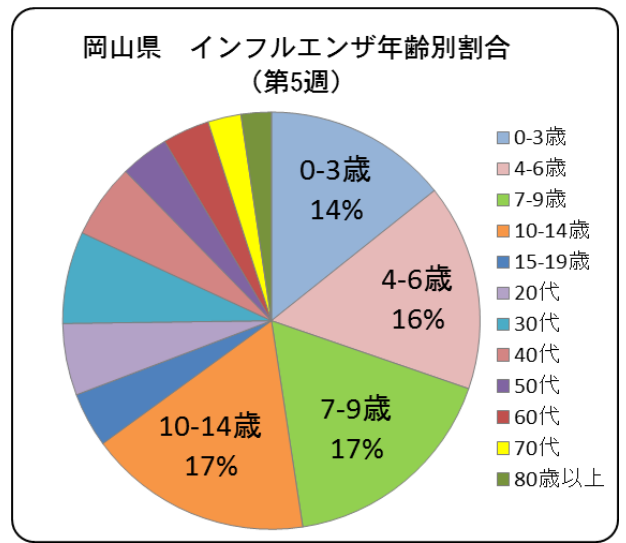
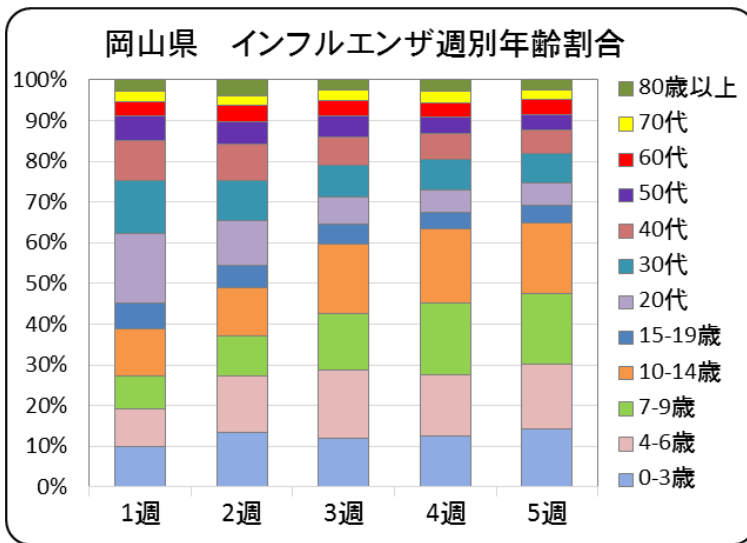
レベル3		レベル2	
開始基準値	終息基準値	基準値	
30	10	10以上 30未満	
レベル1		報告なし	
基準値		基準値	
0 < 10未満		0	



全国集計第4週（1/19～1/25）速報値によると、全国の定点あたり報告数は39.42人であり、前週（37.00人）よりも増加しました。都道府県別では、宮崎県（86.05人）、鹿児島県（78.59人）、山口県（75.12人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、31都道府県で前週の報告数よりも増加しました。

2. 年齢別発生状況

第5週の年齢別割合は、10-14歳及び7-9歳17%、4-6歳16%の順で報告数が多くなっており、中学生以下の年齢層が半数以上を占めています。



3. インフルエンザウイルス検出状況

第5週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスはAH3型が6株でした。今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が38株（100%）となっています。

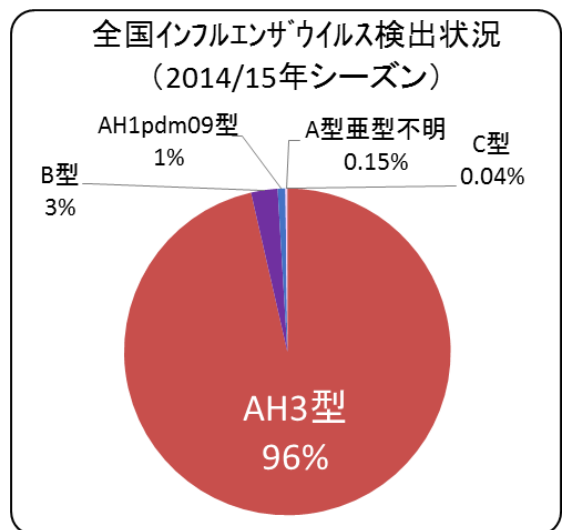
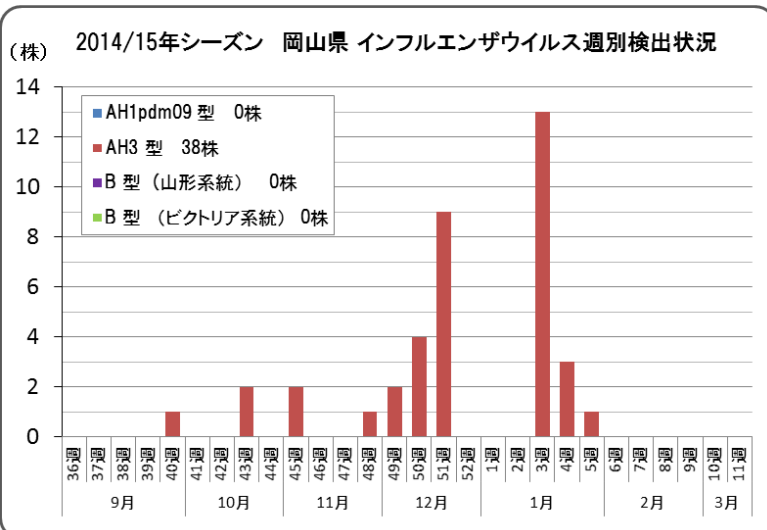
・[\(岡山県 インフルエンザウイルス分離・検出状況\)](#)

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、岡山県と同様、AH3型の検出割合が最も多く96%、次いでB型が3%、AH1pdm09型が1%の順に検出されています。(2015年2月5日現在)

・[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)\)](#)

【第5週 判明分】

ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第5週(1/26~2/1)	2015/1/26	岡山市	40代	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/15	岡山市	小学生	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/14	岡山市	小学生	男
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/14	岡山市	小学生	女
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/14	岡山市	小学生	女
インフルエンザウイルスAH3型	2015年第3週(1/12~1/18)	2015/1/14	岡山市	中学生	女

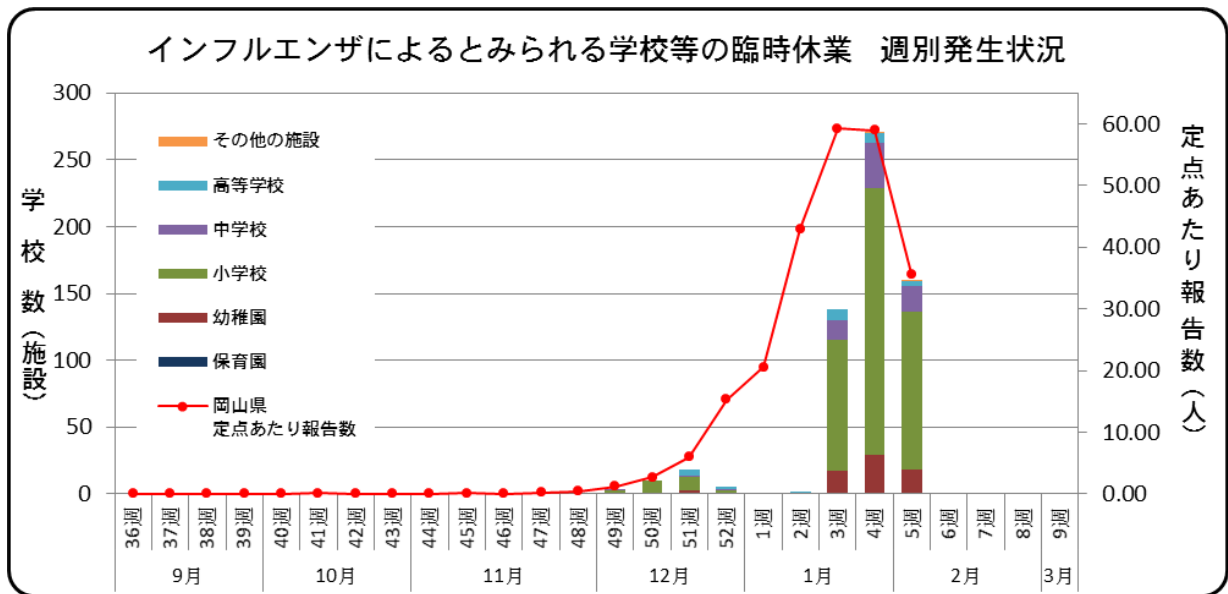


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 160 施設でありました。

【第5週 臨時休業施設数】

▽岡山市 61 ▽倉敷市 35 ▽津山市 16 ▽総社市 12 ▽真庭市 5 ▽備前市 4 ▽高梁市 3
 ▽美作市 3 ▽美咲町 3 ▽玉野市 2 ▽笠岡市 2 ▽井原市 2 ▽瀬戸内市 2 ▽浅口市 2
 ▽早島町 2 ▽矢掛町 2 ▽赤磐市 1 ▽里庄町 1 ▽鏡野町 1 ▽奈義町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	2606	9889	1994	7757	160	609	3	14	35	148	122	447	H26.10.21
岡山市	1031	4145	777	3144	61	236	0	2	7	31	54	203	H26.12.1
倉敷市	560	2236	436	1844	35	130	1	3	3	21	31	106	H26.10.21
備前地域	124	583	87	497	9	45	—	—	2	17	7	28	H26.12.9
備中地域	319	1346	238	1079	23	101	1	5	7	37	15	59	H26.12.8
備北地域	153	247	70	121	3	6	1	1	1	3	1	2	H27.1.16
真庭地域	49	153	40	132	5	17	0	1	3	9	2	7	H26.12.16
美作地域	370	1179	296	940	24	74	0	2	12	30	12	42	H27.1.13

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第5週：160施設

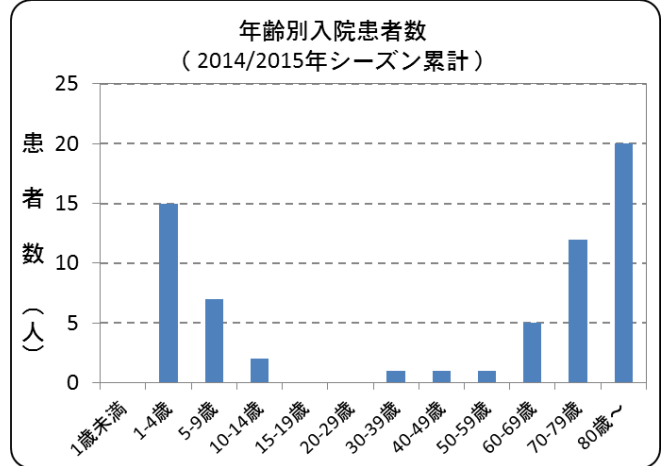
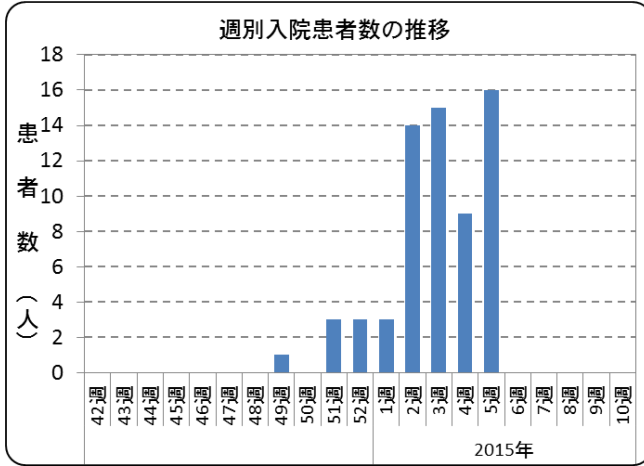
累計：609施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	18	67	118	444	20	72	3	24	1	2

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、16名（1-4歳 4名、40-49歳 1名、60-69歳 2名、70-79歳 5名、80歳以上 4名）の報告がありました。入院患者の多くは、4歳以下の幼児と70歳以上の高齢者となっています。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 5 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数		4						1		2	5	4	16
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)		2								1		1	4
頭部 MRI 検査 (予定含)													
脳波検査 (予定含)													
いずれにも該当せず		2						1		1	5	3	12

* 重複あり

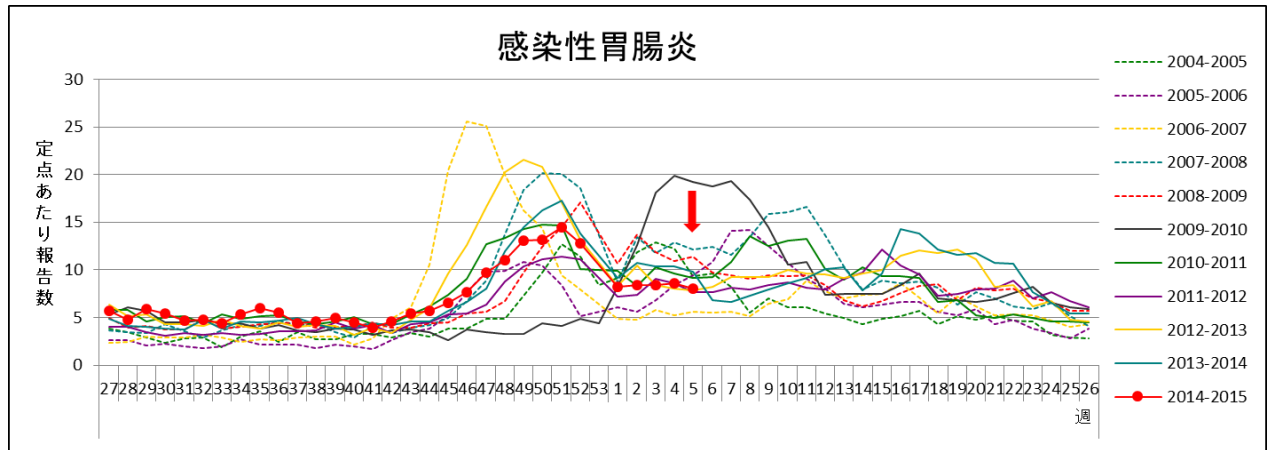
【2014年9月1日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数		15	7	2			1	1	1	5	12	20	64
ICU入室											3		3
人工呼吸器の利用													
頭部 CT 検査 (予定含)		5								2	3	3	13
頭部 MRI 検査 (予定含)		1		1							2		4
脳波検査 (予定含)		1									1		2
いずれにも該当せず		10	7	1			1	1	1	3	7	17	48

* 重複あり

感染性胃腸炎週報 2015年 第5週 (1月26日～2月1日)

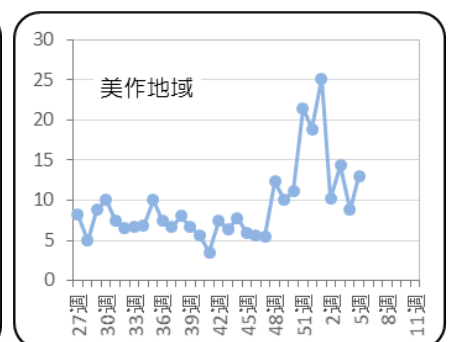
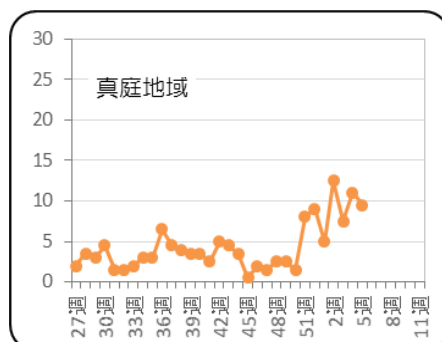
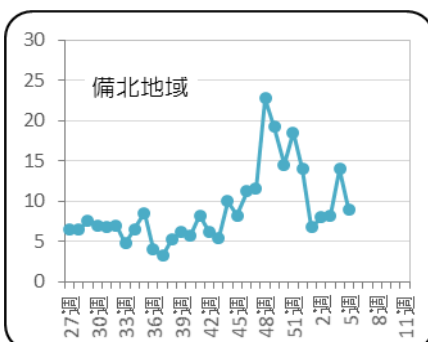
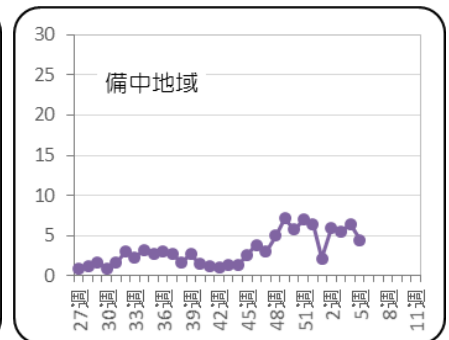
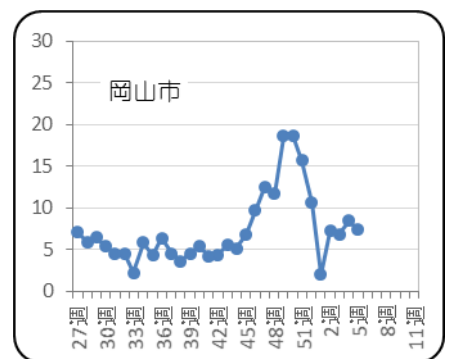
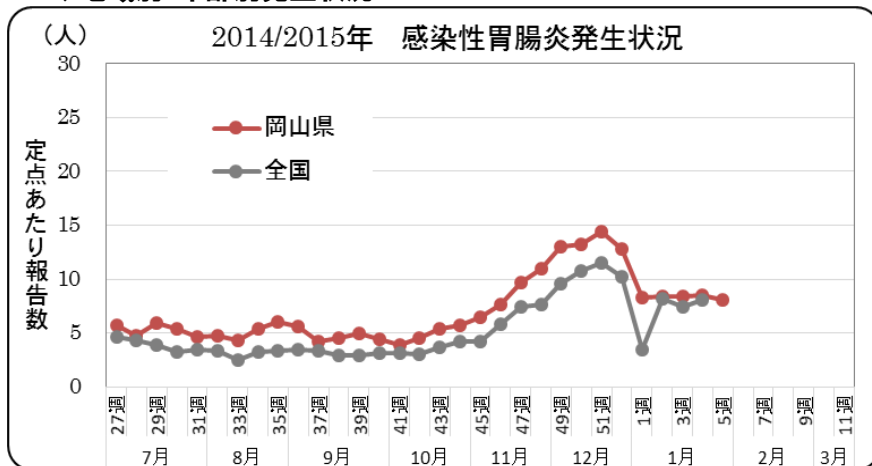
○感染性胃腸炎は、県全体で436名(定点あたり8.56→8.07人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。



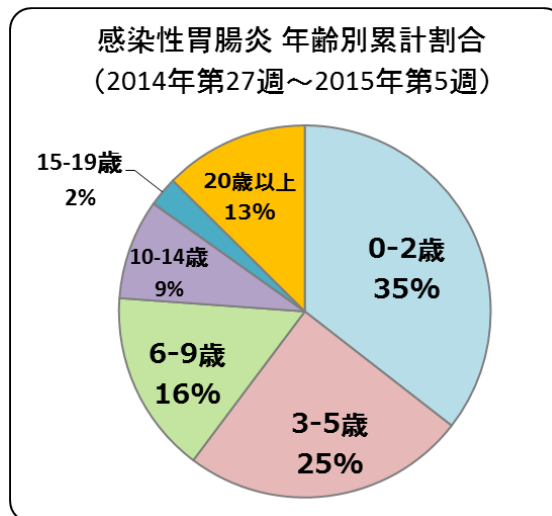
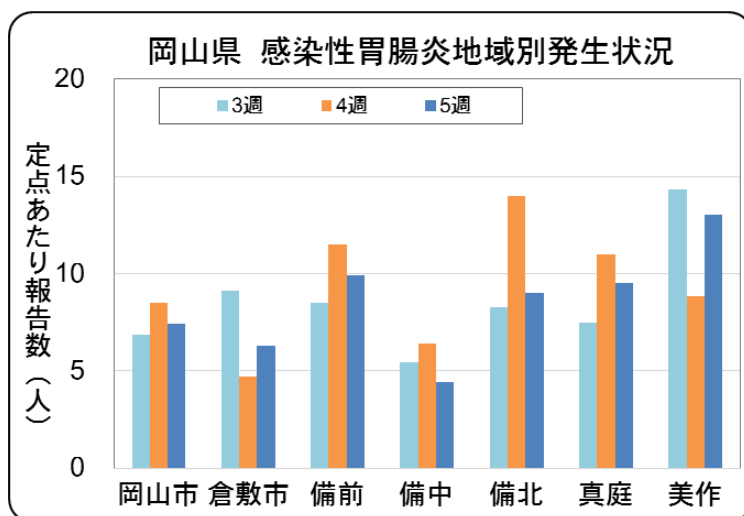
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で436名(定点あたり8.56→8.07人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。12月をピークに報告数は減少していましたが、第1週(12/29～1/4)からは横ばいで推移しており、依然として多くの患者が報告されています。全国では、冬の感染性胃腸炎の原因であるノロウイルスの集団感染も発生しています。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、美作地域（13.00人）、備前地域（9.90人）、真庭地域（9.50人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、美作地域（8.83 → 13.00人）、倉敷市（4.73 → 6.27人）では前週より増加しました。年齢別累計では、5歳以下の乳幼児が全体の60%を占めています。



ノロウイルスに感染しないためには

1. 最も大切なことは手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

嘔吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理するときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、下痢便、嘔吐物をペーパータオル等で静かに拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをします。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。ノロウイルスにアルコールは消毒効果が低いとされています。

3. 嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1分以上の熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤でも代用可）**の消毒が有効です。

嘔吐物や下痢便で汚れた衣類は、付着した汚物を除去し、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗った後、熱水洗濯か次亜塩素酸ナトリウムで消毒をしましょう。

※塩素系漂白剤の使用に当たっては「使用上の注意」を確認しましょう。

4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。（中心部を85～90℃で90秒間以上）

[ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省ホームページ）](#)

[食中毒（ノロウイルス）注意報を発令中です（岡山県ホームページ生活衛生課）](#)

保健所別報告患者数 2015年 5週 (2015/01/26～2015/02/01)

2015年2月4日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2998	35.69	770	35.00	807	50.44	384	25.60	464	38.67	214	35.67	107	35.67	252	25.20
RSウイルス感染症	31	0.57	6	0.43	5	0.45	-	-	-	-	4	1.00	2	1.00	14	2.33
咽頭結膜熱	7	0.13	3	0.21	-	-	1	0.10	1	0.14	1	0.25	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	1.41	34	2.43	21	1.91	1	0.10	7	1.00	7	1.75	2	1.00	4	0.67
感染性胃腸炎	436	8.07	104	7.43	69	6.27	99	9.90	31	4.43	36	9.00	19	9.50	78	13.00
水痘	34	0.63	13	0.93	7	0.64	-	-	2	0.29	10	2.50	1	0.50	1	0.17
手足口病	12	0.22	4	0.29	1	0.09	3	0.30	4	0.57	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	0.13	3	0.21	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
突発性発疹	15	0.28	8	0.57	2	0.18	1	0.10	1	0.14	2	0.50	-	-	1	0.17
百日咳	2	0.04	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	9	0.17	1	0.07	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	0.83
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	1	0.20	-	-	1	1.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	2	0.40	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	-	-	2	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2015年 5週 (2015/01/26～2015/02/01)

2015年2月4日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	2998	35.69	770	35.00	807	50.44	384	25.60	464	38.67	214	35.67	107	35.67	252	25.20
咽頭結膜熱	7	0.13	3	0.21	-	-	1	0.10	1	0.14	1	0.25	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	1.41	34	2.43	21	1.91	1	0.10	7	1.00	7	1.75	2	1.00	4	0.67
感染性胃腸炎	436	8.07	104	7.43	69	6.27	99	9.90	31	4.43	36	9.00	19	9.50	78	13.00
水痘	34	0.63	13	0.93	7	0.64	-	-	2	0.29	10	2.50	1	0.50	1	0.17
手足口病	12	0.22	4	0.29	1	0.09	3	0.30	4	0.57	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	0.13	3	0.21	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
百日咳	2	0.04	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	9	0.17	1	0.07	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	0.83
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	0.25	1	0.20	-	-	1	1.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2015年 第5週 2015/01/26～2015/02/01)

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	2998	16	39	118	132	123	130	156	194	210	160	149	521	127	167	214	173	113	109	77	70

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	31	9	10	5	1	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	7	-	-	1	2	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	76	-	-	1	4	5	10	13	12	8	4	3	12	1	3
感染性胃腸炎	436	2	20	68	44	26	32	35	31	17	25	11	41	15	69
水痘	34	-	-	4	6	7	4	2	6	-	2	2	1	-	-
手足口病	12	-	1	4	2	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	7	-	-	-	-	1	3	-	-	1	-	-	2	-	-
突発性発疹	15	-	6	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	9	-	-	-	-	1	1	2	-	1	2	-	2	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

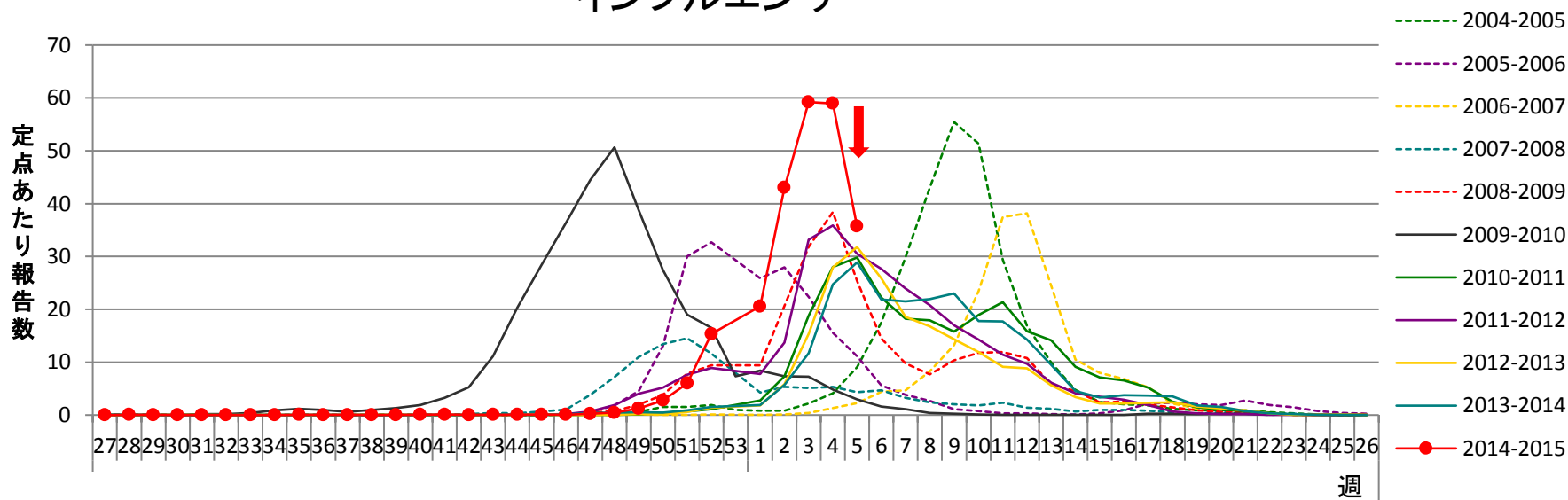
(- : 0)

全数把握 感染症患者発生状況

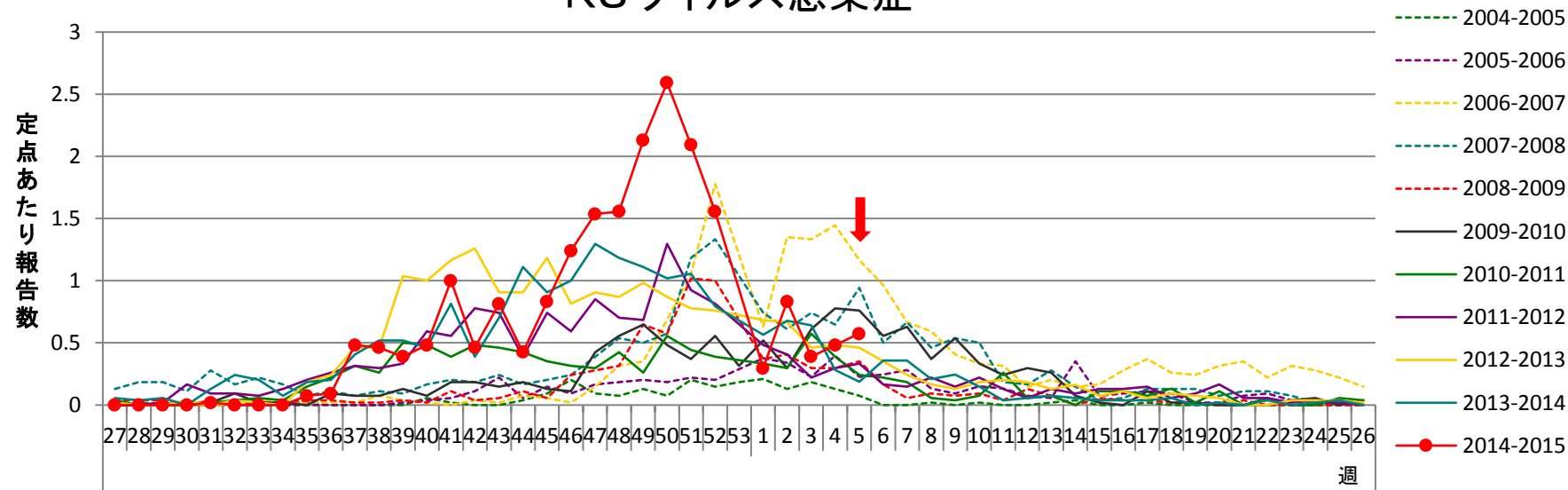
2015年 5週

分類	疾病名	2015			疾病名	2015			疾病名	2015		
		今週	累計	2014 昨年		今週	累計	2014 昨年		今週	累計	2014 昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	1	15	380	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	-	1	70
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	-	8
	エキノкокクス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	2	腎症候性出血熱	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2	デング熱	-	-	1
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	4	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-	野兎病	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	3	32	レプトスピラ症	-	-	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
五類	アメーバ赤痢	-	2	12	ウイルス性肝炎*3	-	1	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	-	1	12
	急性脳炎*4	-	1	9	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	3	後天性免疫不全症候群	-	-	20	ジアルジア症	-	-	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	2	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	-	4	26
	水痘(入院例に限る。)	-	-	6	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	-	20
	播種性クリプトコックス症	-	-	-	破傷風	-	-	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	2	風しん	-	-	2	麻しん	-	-	6
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-		-	-	-		-	-	-

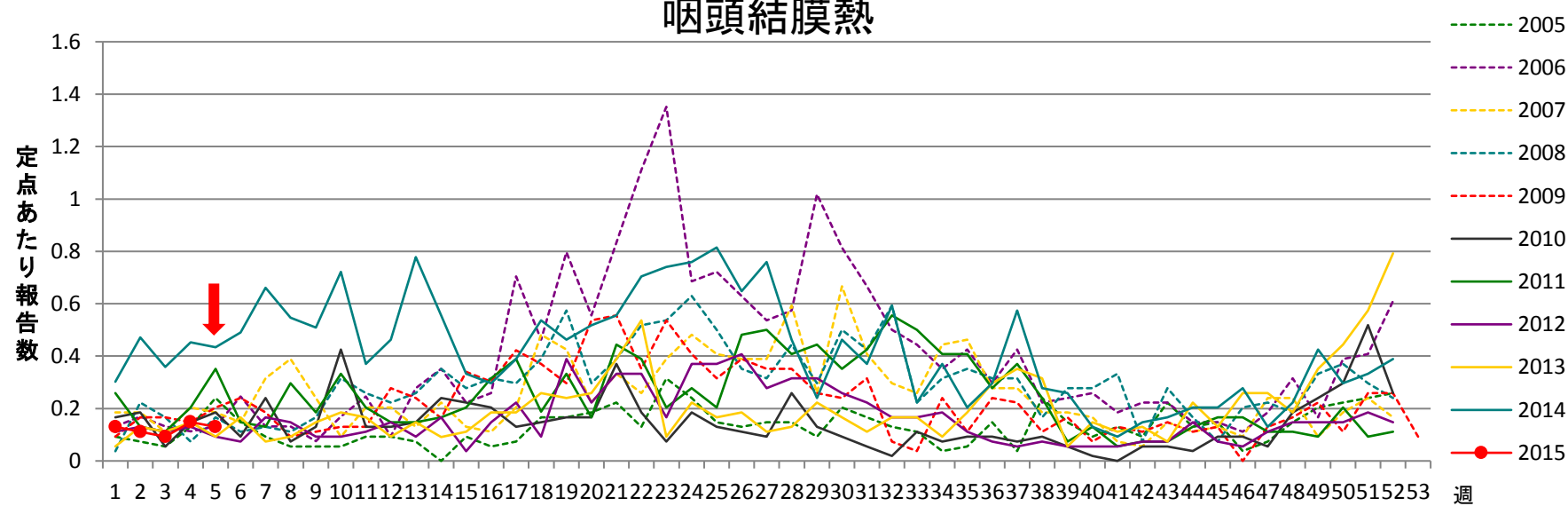
インフルエンザ



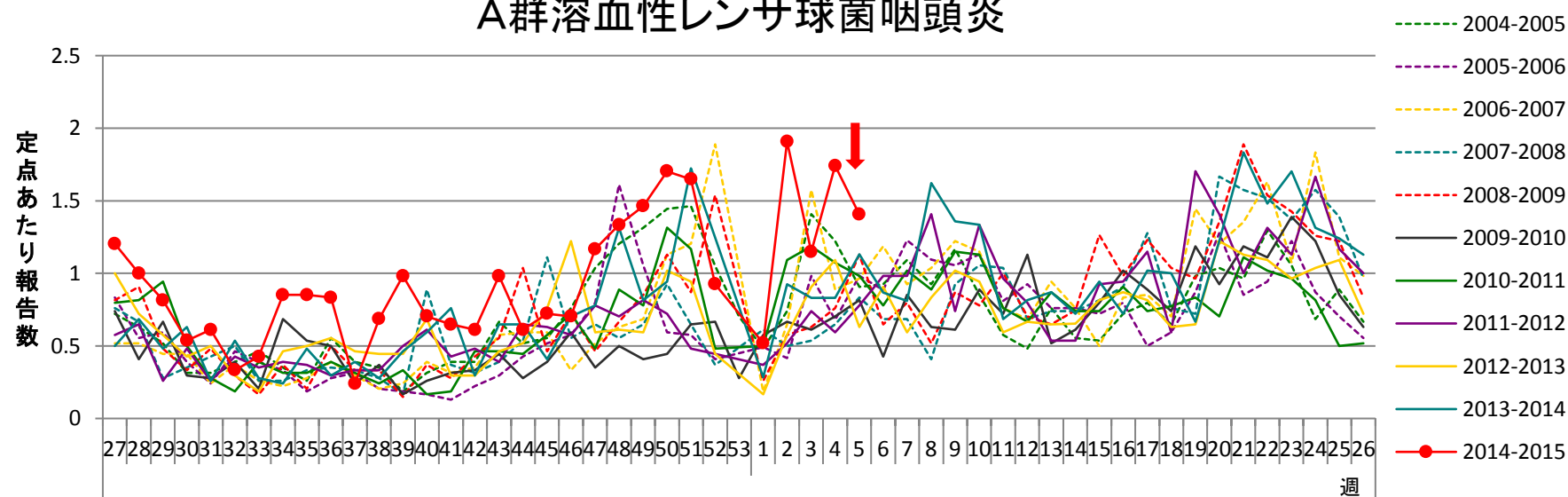
RSウイルス感染症



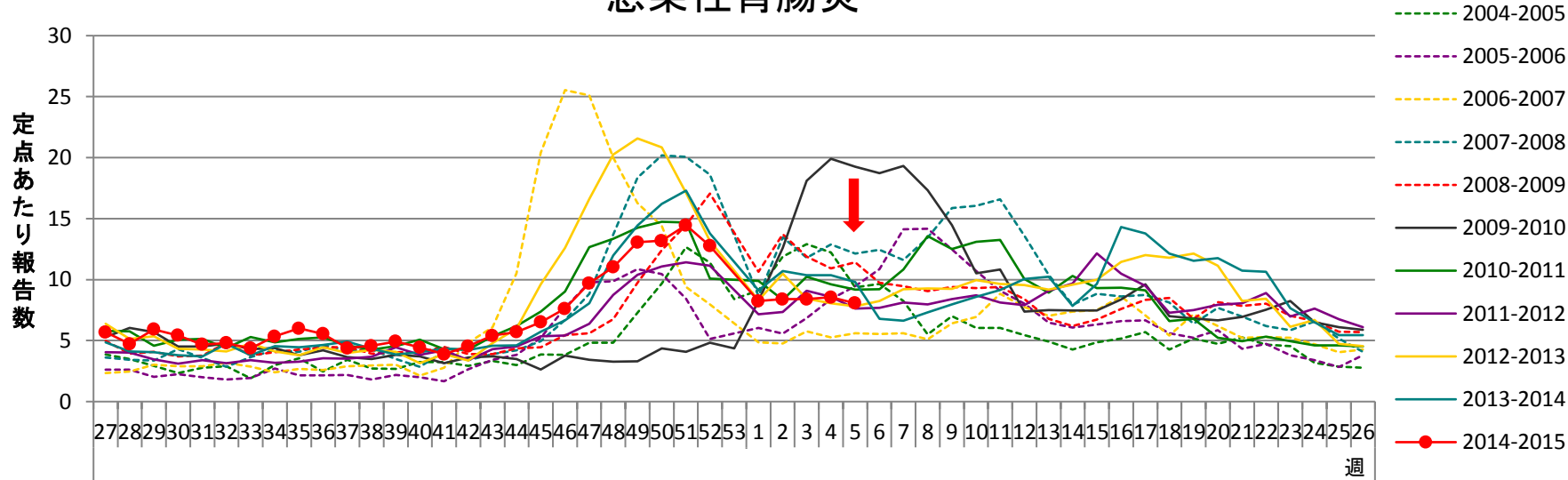
咽頭結膜熱



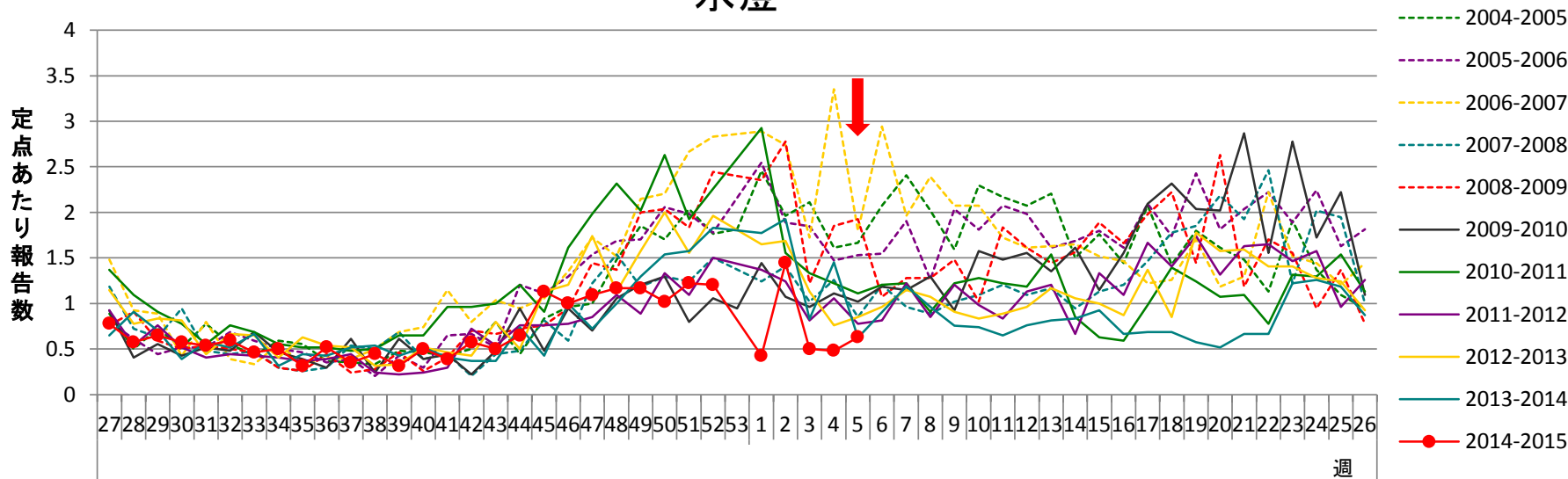
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



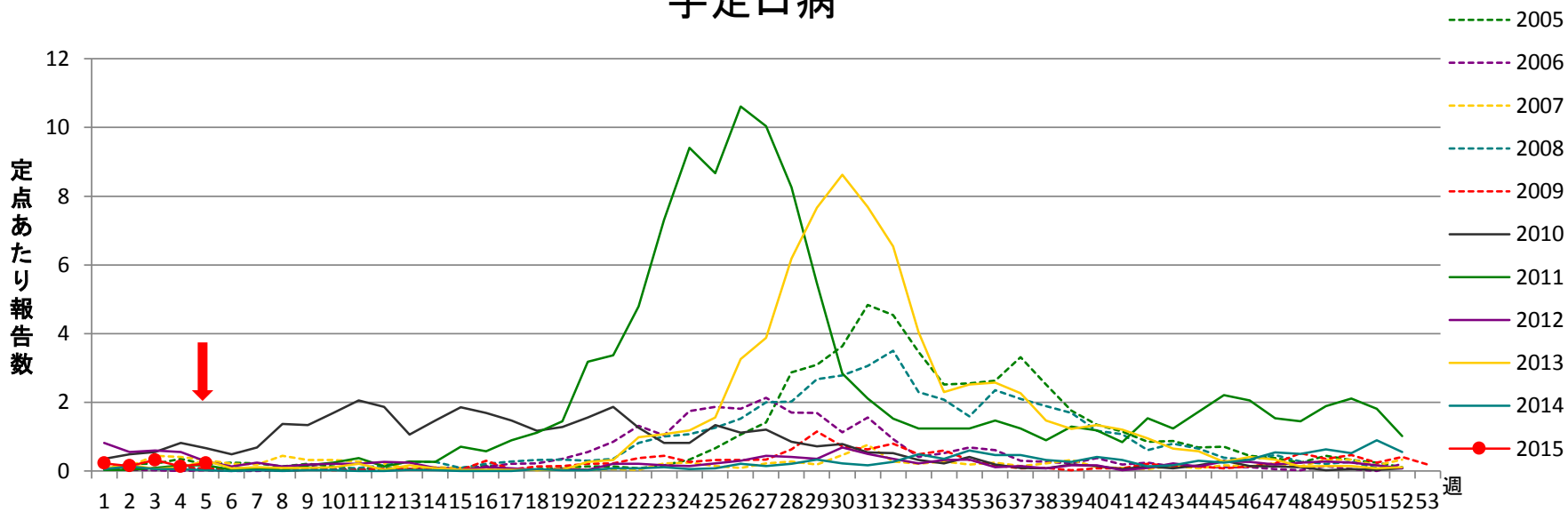
感染性胃腸炎



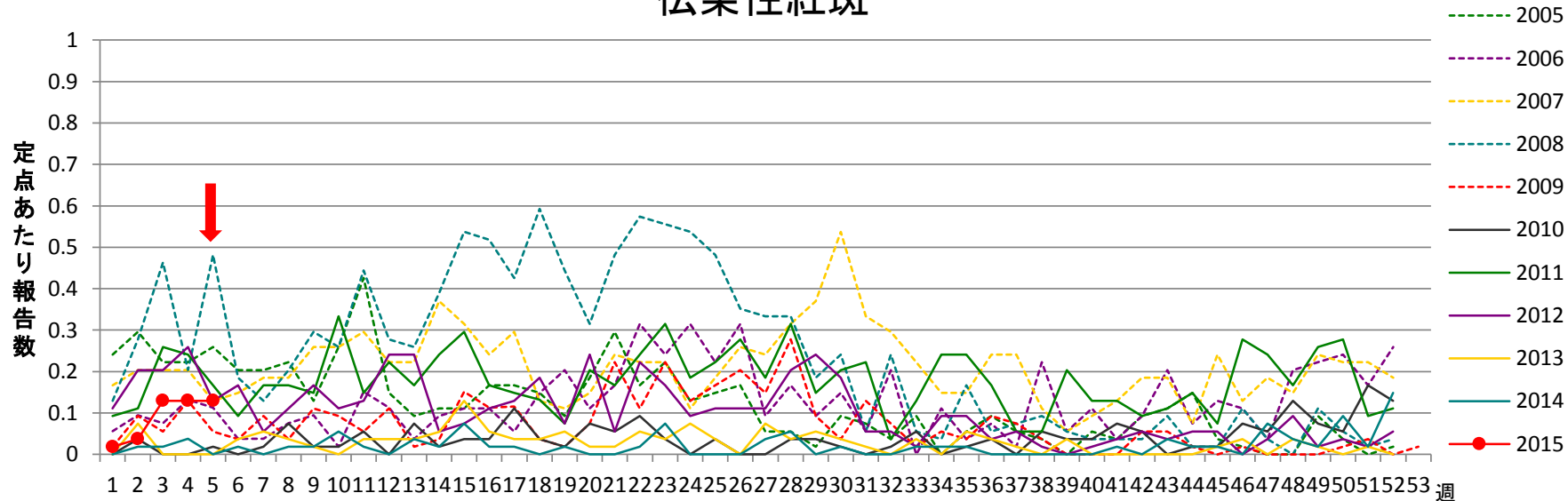
水痘



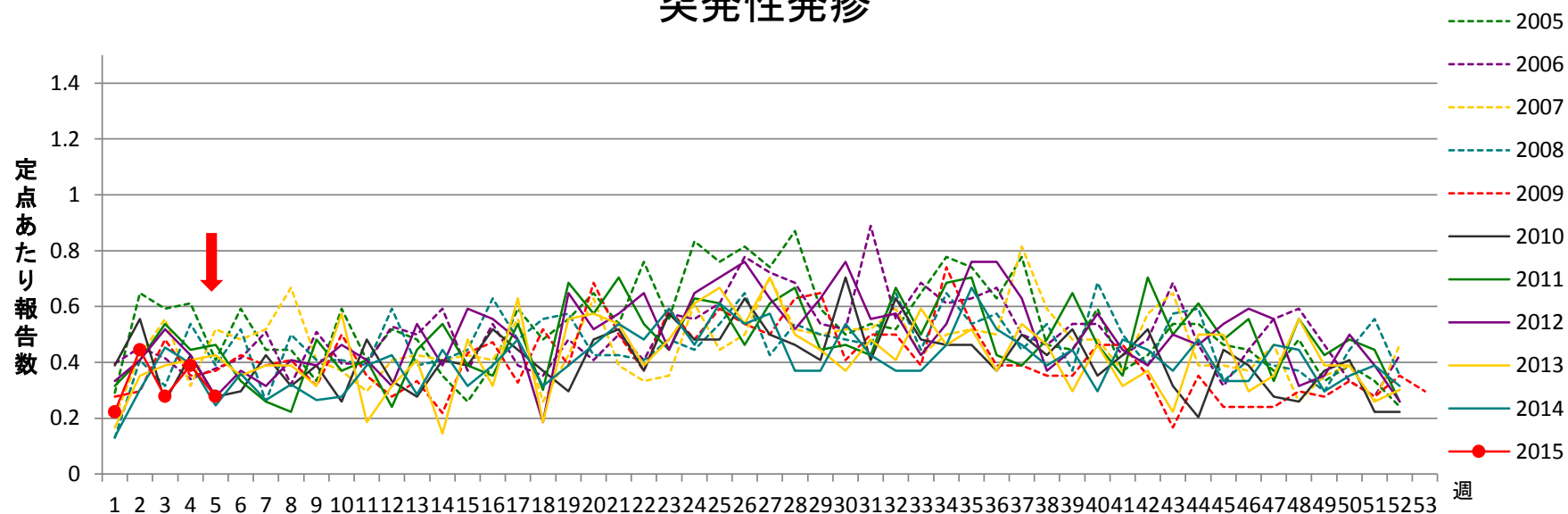
手足口病



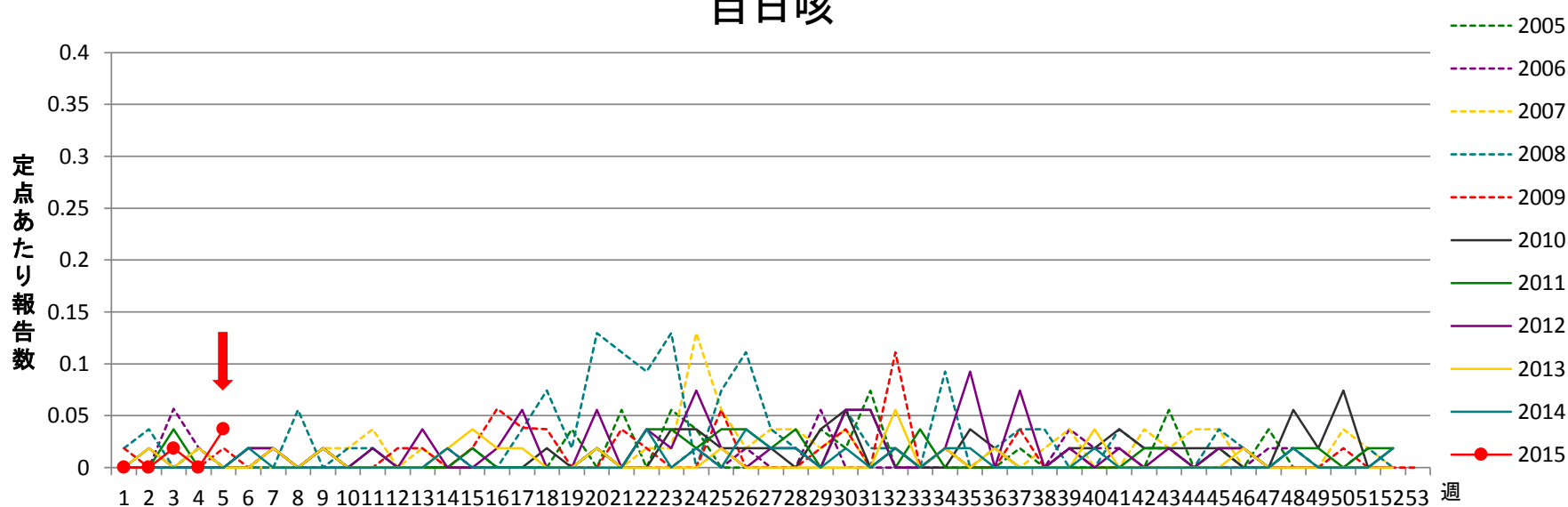
伝染性紅斑



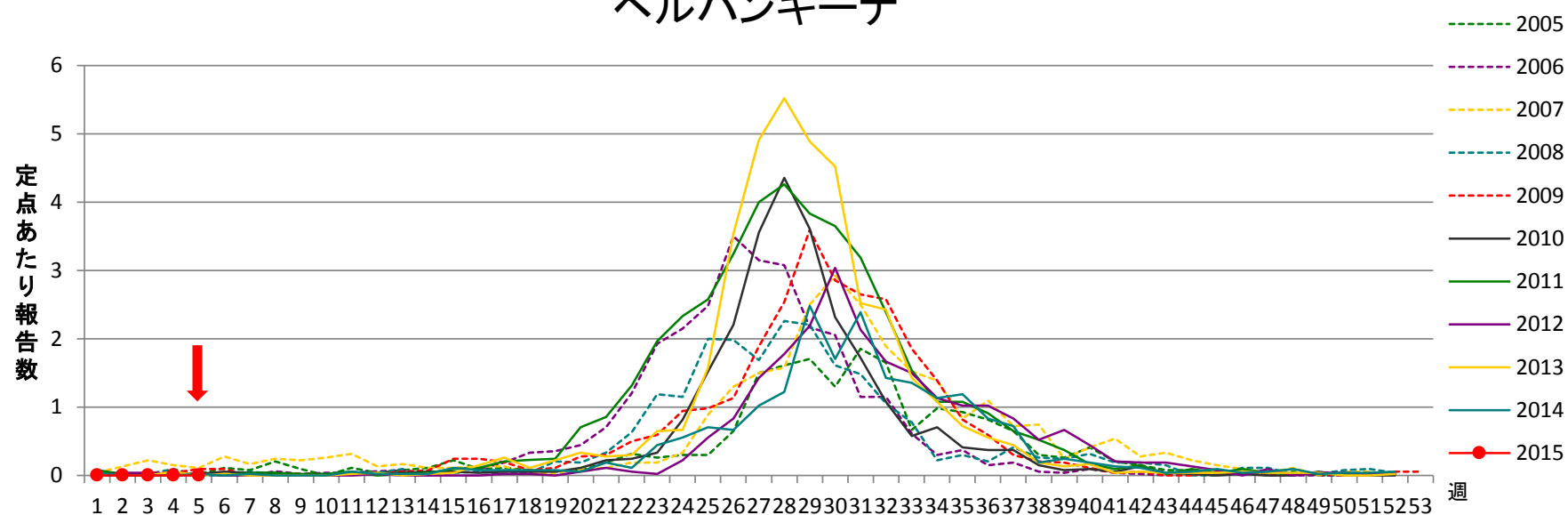
突発性発疹



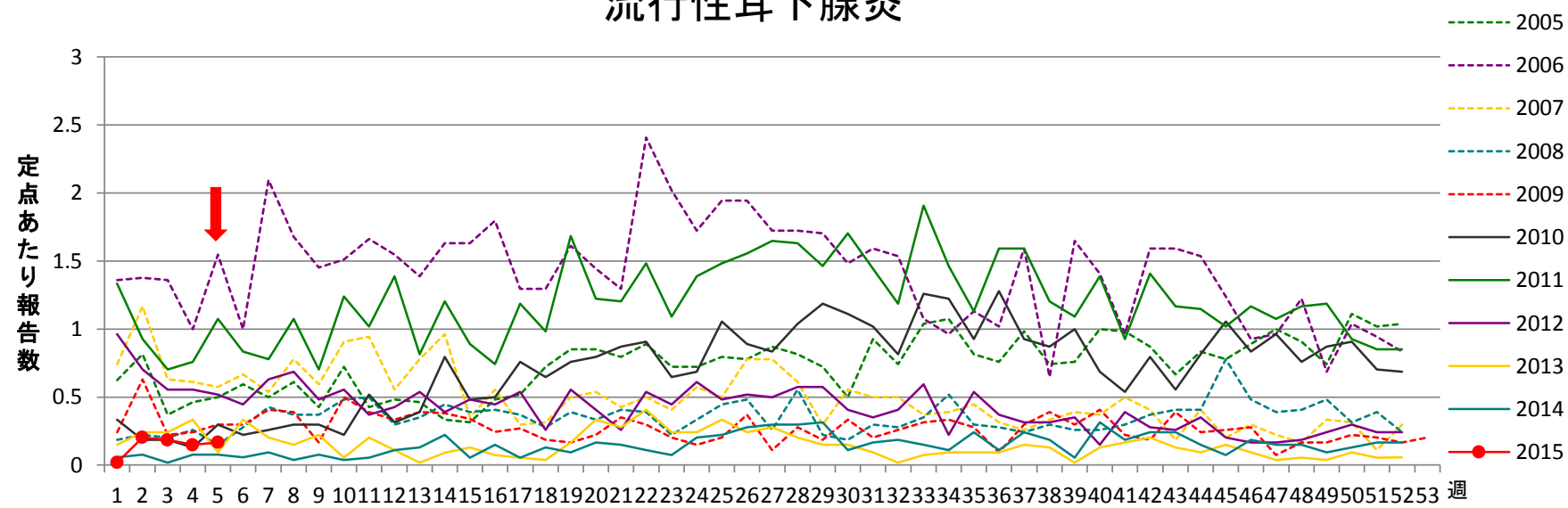
百日咳



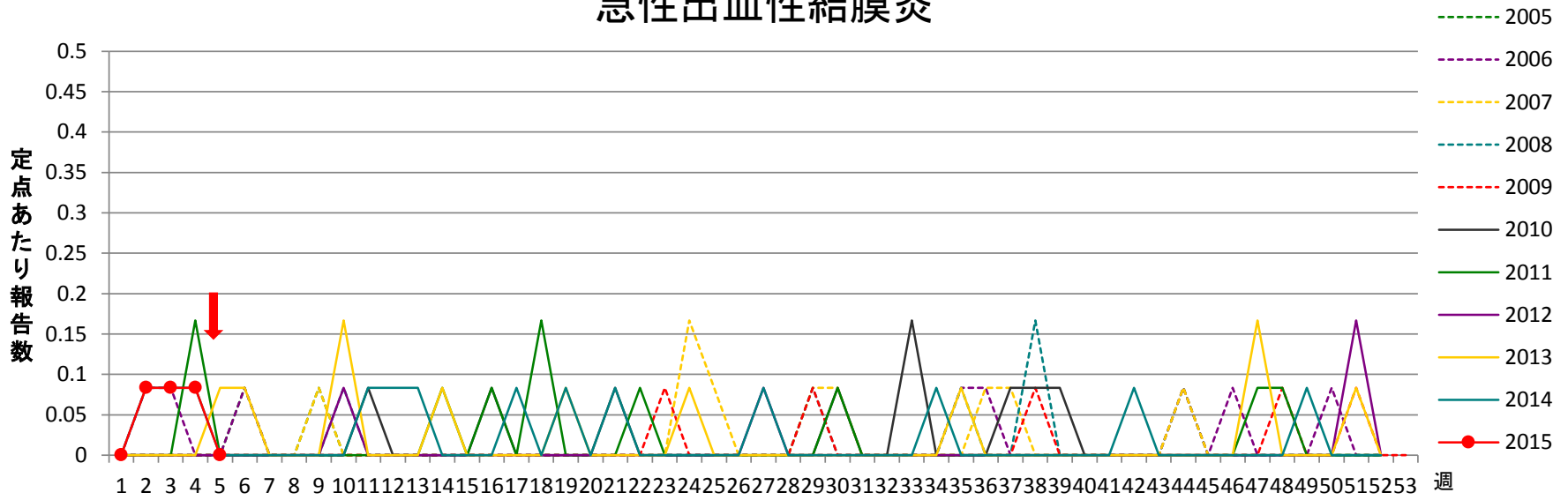
ヘルパンギーナ



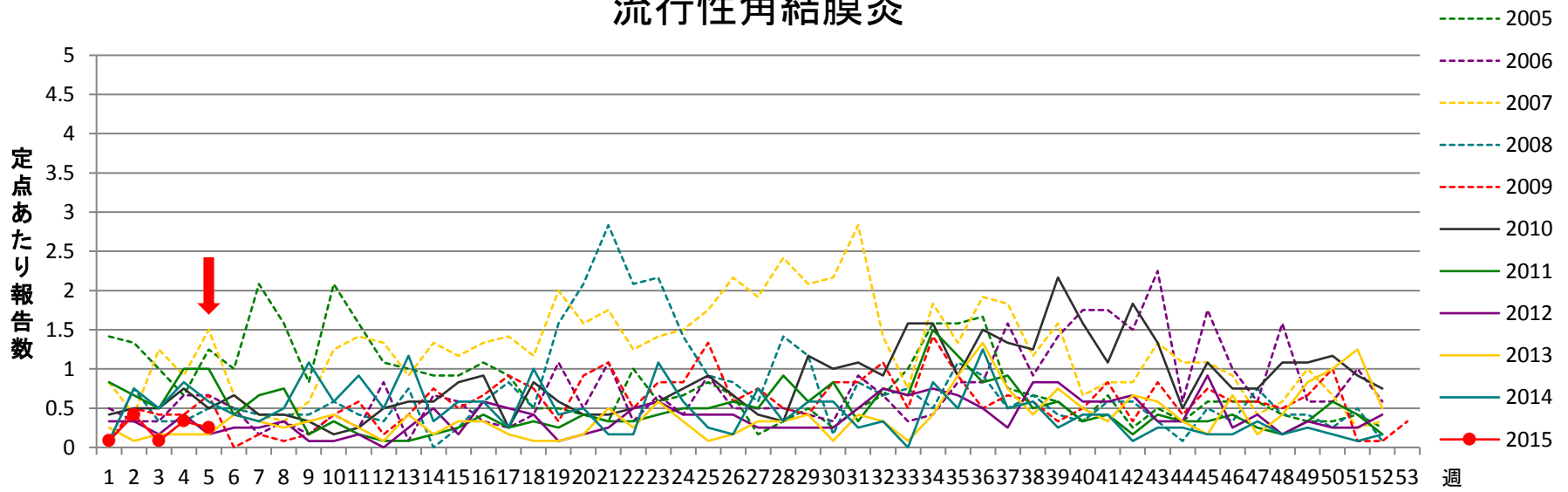
流行性耳下腺炎



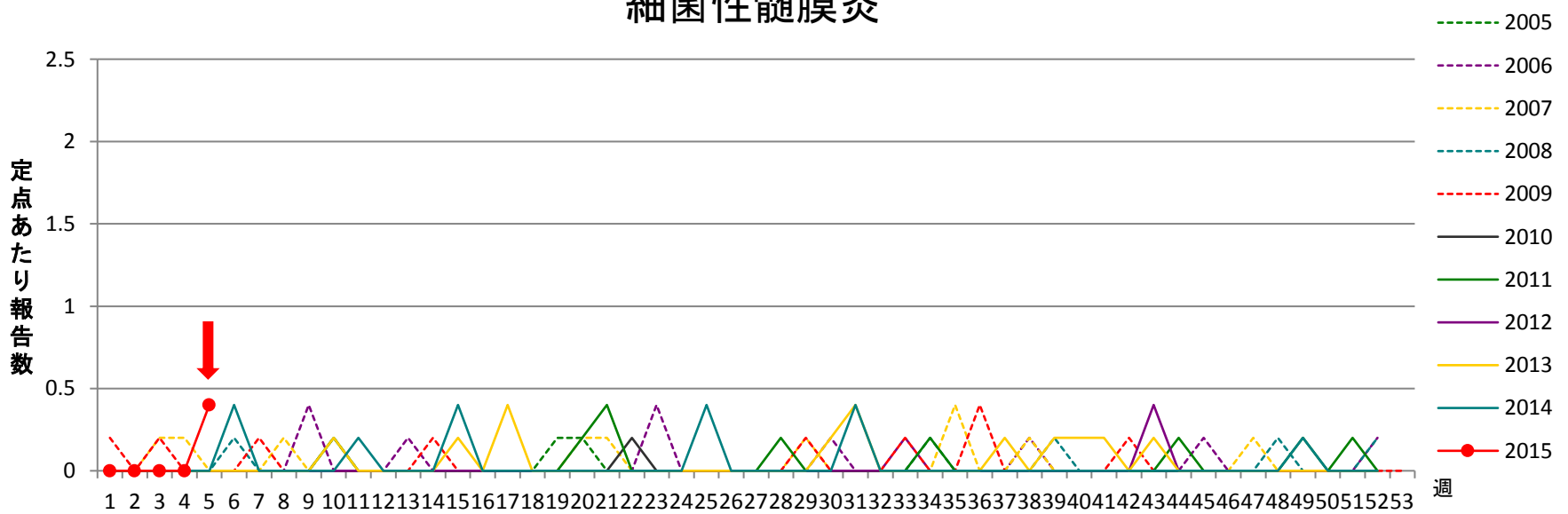
急性出血性結膜炎



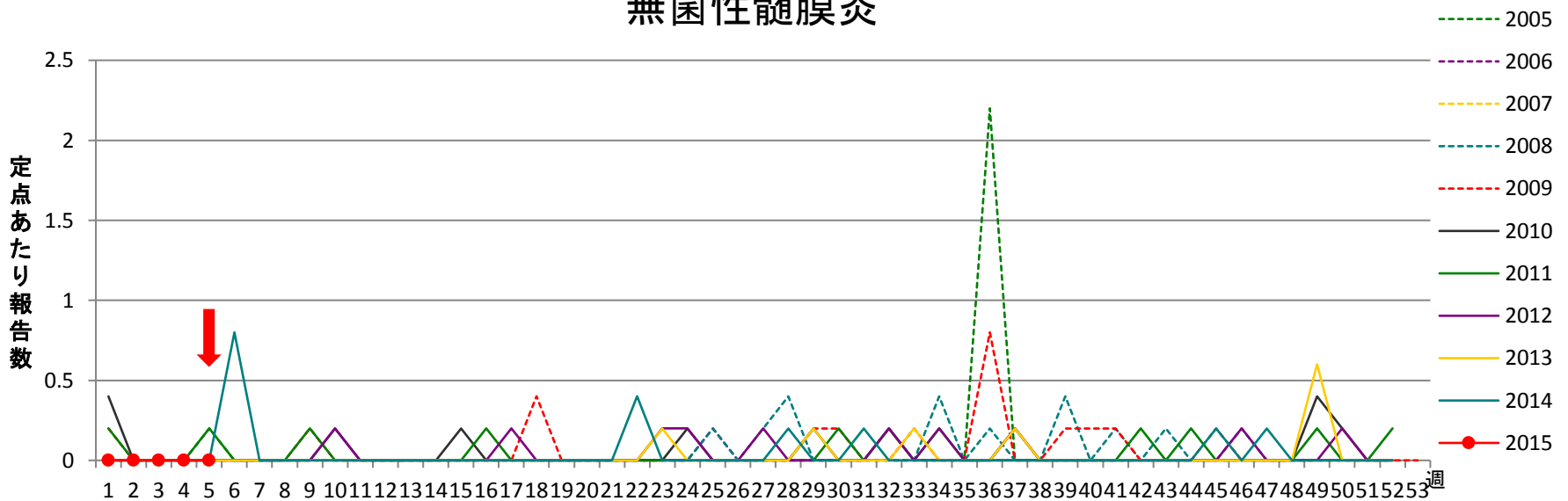
流行性角結膜炎



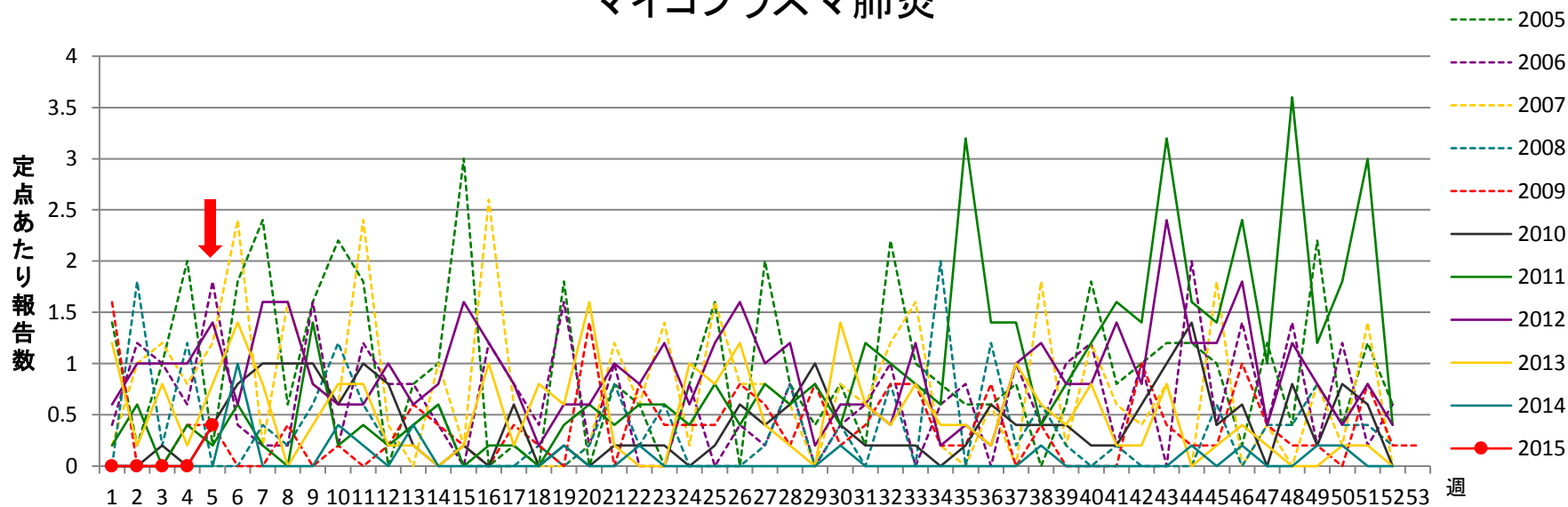
細菌性髄膜炎



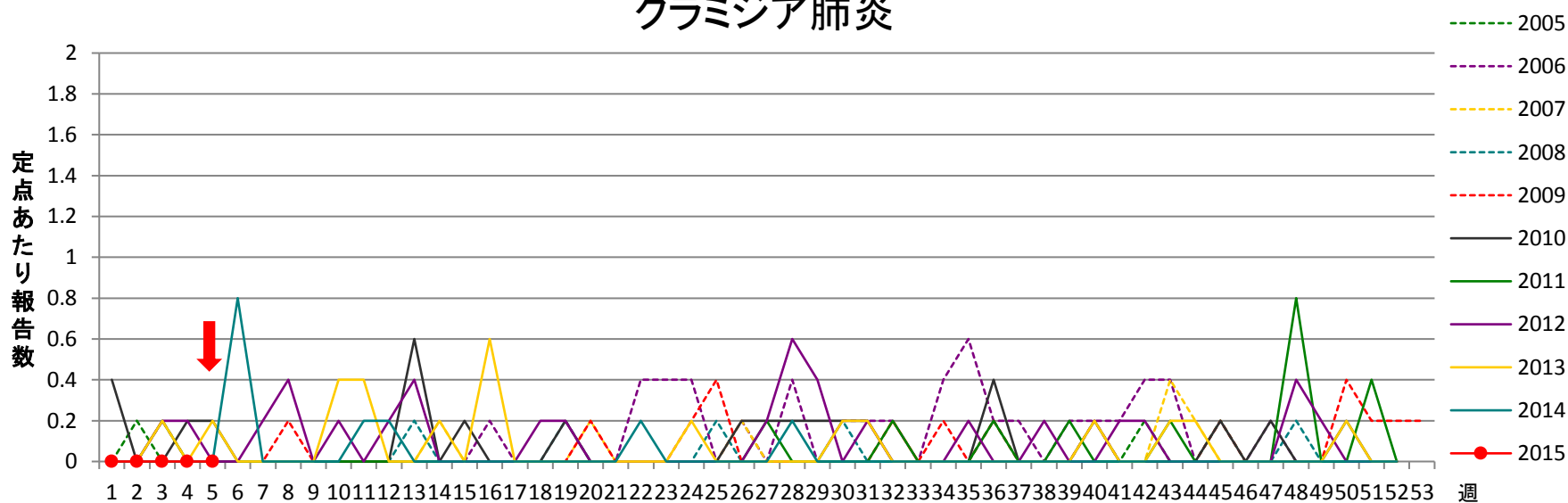
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

